

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者		
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	A	A	A	A	○例年同様、学年が上がるにつれて生徒の達成感・満足感が上昇している。また、保護者の評価は今年度も良好である。 ①生徒の学力を適切に把握し、意欲的かつ計画的に学習するよう指導・支援を行う。 ②HR担任と教科担当者が情報を共有し、生徒の意欲を高め、学びに向かわせる方策を工夫する。	○学校の取組に対して、コロナ禍でも生徒・保護者から高評価を得ていることは、日頃の努力の賜物だと思う。 ○学年が上がるにつれて達成感・満足感が上昇しているのは素晴らしい。
		a	b	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a		
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A	○コロナ禍のため生徒が主体的・対話的に参加する授業を行うことが難しかったものの、生徒・保護者ともに授業内容についての満足度は高い。 ①全ての普通教室に導入された電子黒板やWi-Fiを活用し、視覚的にも工夫してより一層「分かる授業」となるよう努める。	
		a	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a		
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができているか。	A	C	B	A	B	B	○今年度も他の項目に比べて低い評価になっているが、特に1年生は「与えられる」学習から「自ら策定する」学習への移行がスムーズではなかったためと考えられる。 ①自身で課題を発見し「自ら学ぶ」姿勢を身に付けさせるため、各種試験をしっかりと振り返らせて学習計画を立てさせ、担任が一人一人に対しより一層丁寧に指導していくよう努める。	○評価を見る限り問題はないと思うが、1年生の肯定的な回答の数値が他学年に比べて低い点が気になる。 ○生徒自身が自ら計画的に学習する雰囲気作り、学校作りにより一層取り組んで欲しい。
		a	c	b	a	b	b		
		a	b	b	a	b	b		
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	B	○概ね高い評価だが、「わからない」と回答した保護者が一定数見受けられる。 ①何が学力向上への取り組みかということを整理し、それらの効果について生徒等への説明と指導を工夫する。 ②学校HP等を利用して本校の取り組みに関する情報発信に努める。	○今年度の推薦入試で多くの私立・国公立大学に合格している状況を見ると、学力向上につながる学習指導が行われていると思う。
		b	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	b		
	5 長期休業中の課外や土曜講座の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A	○生徒、保護者ともに効果について肯定的である割合が80%を越えており、前向きに受け止められている。 ①生徒に対しては、講座に参加した意義をより実感できるよう、内容の工夫に努める。 ②保護者に対しては、講座内容の詳細についての発信を考えていきたい。	
		a	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a		
進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	A	○全体的に良好であるが、生徒の肯定的な回答は90%を越えているのに対し、保護者の肯定的な回答は70%を少し越えたくらいであり、わからないという回答も13%ある。今年度は1・2年生の保護者会も中止になり、直接学校の様子を見聞かす機会が減った影響が大きいと考えられる。 ①特に1・2年生の保護者については、1つの進路行事を取り上げ、その詳細について発信することを考えていきたい。	○コロナ禍で保護者は不安を感じていると思う。学校HPを活用し情報発信に努めて欲しい。 ○全てA評価なのは素晴らしい。進路講演会の内容が分かるものを学校HPに掲載し、保護者や中学生が見られるようにするとさらに良い。
		a	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a		
教科外教育活動 の 活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	A	B	A	A	○1、2年生ともに部活動において充実した活動ができていると思われる。一方、3年生は2年時と比べると評価が下がっている。部活動引退や、受験勉強に時間の多くを割くようになったことが背景にあると考えられる。 ①次年度は共学化に伴い部活動数が増えるが設備は変わらないので、各部活動で工夫をして生徒が満足していく活動ができるよう支援していく。 ②部活動の大会結果や練習風景などを学校HPで発信する。上位大会に参加する部活動は学校全体で応援する体制を作る。	○「次年度に向けて」に記載があるように、部活動の練習風景や活動状況を発信して欲しい。その際、どの部活動の発信なのかすぐ分かるようにすると良い。 ○3年生がB評価なのは、部活動を引退し受験に力を注ぐようになるので仕方がないと思う。 ○学校行事・生徒会行事が全てA評価であるのは素晴らしい。
		a	a	a	b	a	a		
		a	a	b	b	b	a		
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A	A	○例年通り生徒の満足度は高い。 ①共学化を踏まえ、これまでの足高・足女高の良さを取り入れつつ男女が協力して学校行事を運営する体制を作る。 ②新校の特色として、異学年交流をより一層促進する行事運営に力を入れる。	
		a	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a		
連携 教育相談 生徒指導	9 生徒が相談しやすい雰囲気作りができているか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。		A	A	A	A		○全体的に高い評価である。個々に対して相談窓口を周知し、相談しやすい環境作りをしていることが要因であると考えられる。 ①引き続き、生徒に対する担任面談の充実に関力を入れる。 ②生徒の相談に対して、担任・教育相談係が窓口となり対応していく。また、必要に応じてスクールカウンセラーを活用していく。	○多感で悩み多い生徒一人一人に今後も寄り添って欲しい。この点が学校教育に今一番求められていると思う。
			a	a	a	a			
			a	a	a	a			
	10 マナーや規範意識を育む指導ができているか。						B	○保護者に対して学校の取り組みを周知していないため、あまり理解されていない。 ①マナー・規範意識の向上のため、保護者・教職員が連携して交通街頭指導等の学校行事に取り組み、現状を理解してもらう。 ②学校HPや学年通信等を活用して、情報提供を図る。	
							b		
							a		
	11 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A					B	○保護者の評価が前年を下回っている。PTA行事の中止や縮小の影響が大きいと思われる。また、自由記述では生徒が保護者に学校の話をしにくい例もあり、学校HPや学年・学級通信等での家庭への情報提供が必要。 ①学校HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心がけ、学校の現状を知らせるよう努める。また、報告だけでなく月行事予定も掲載する等、利便性の向上に努める。 ②紙媒体だけでなく、Classi・一斉メール等も活用し、確実に情報提供する。	○新校になることで学校HPを活用する保護者が増え、学校の情報が伝わりやすくなると思う。
		a					a		
		a					a		
総括的評価	12 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A	○生徒・保護者の肯定的回答は9割を越えており、総合的に見て満足度は高いと言える。 ①これまで本校で実施してきた各教育活動のノウハウを新校でも継承し、さらに充実させるよう努める。 ②新校の特色や教育活動に対する保護者や地域の理解を深めるため、新しい情報をこまめに発信するよう努める。	○足高に入学して良かったと思う生徒・保護者が9割以上なのは素晴らしい。今ほど地域の人が足高に関心を持ち、新足高に期待している時はない。その期待に是非応えて欲しい。
		a	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a		

評価基準	生徒・保護者	アンケートの①②合計の回答率	教員	アンケートの①②合計の回答率	* アンケート結果のアルファベットは次の通り。 上段:令和3年度(大文字) 中段:令和2年度(小文字) 下段:令和元年度(小文字)
	70%以上	A (十分に成果があった)	80%以上	A (十分努力している)	
	50%以上70%未満	B (成果があった)	60%以上80%未満	B (努力している)	
	30%以上50%未満	C (少し成果があった)	40%以上60%未満	C (あまり努力していない)	
	30%未満	D (成果がなかった)	40%未満	D (努力していない)	